

# より良い有田市をめざして

人に成ること



節分に無病息災を祈り、豆まきをする風習があります。また、自分の年齢の数だけ豆を食べることで、年齢と同じ数だけ福を身体に取り入れるという意味があるそうです。ただ、歳を重ねるとともに、年齢の数だけ食べることが次第に辛くなつてきます。

世界にも様々な文化や風習があります。「ライオン狩り」「鮫を素手で捕獲」「バンジージャンプ」といったことは、日本ではあまり経験する機会がありません。これらを成人になるための儀式としている国があるそうで、大人になるためには、命がけで乗り越えなければならぬ壁があるのです。

日本では20歳で社会的に大人として認められますが、世界的に見ると18歳以上を成人と定めている国が大多数を占めています。昨年、公職選挙法が改正され、選挙権が70年ぶりに拡大されました。これを受けて、今年

の参議院議員選挙から選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられます。これまで選挙権のなかった18～19歳のおよそ240万人の人たちが選挙権を持つようになります。昨今の若い世代における投票率の低さが懸念されてきました。これを機に、もっと若い人たちに選挙を通じて、政治に対し少しでも関心を持つてほしいと思います。

私の世代も含めてですが、若い人たちは幼く未熟で成人の自覚が足りないといつ、いつの時代でも言われてきたように思います。

『成人とは人に成ること』もしそうなら 私たちはみな日々成人の日を生きている 完全な人間はどこにもいない

谷川俊太郎さんの詩「成人の日」の一節です。この詩は全ての世代に通じるもので、私も二十数年前に法律上の成人年齢を超えましたが、これからも日々、人として成長することで成人の日を生きていきたいと思

います。新成人の皆さん、これからもお互いに大人になり続けましょう。そして、これからの時代のために何ができるのか、一緒に考えてほしいと思います。

有田市長 望月良男



生涯学習課 (内線297)

## みかんの里の開催 フェスティバル

参加して

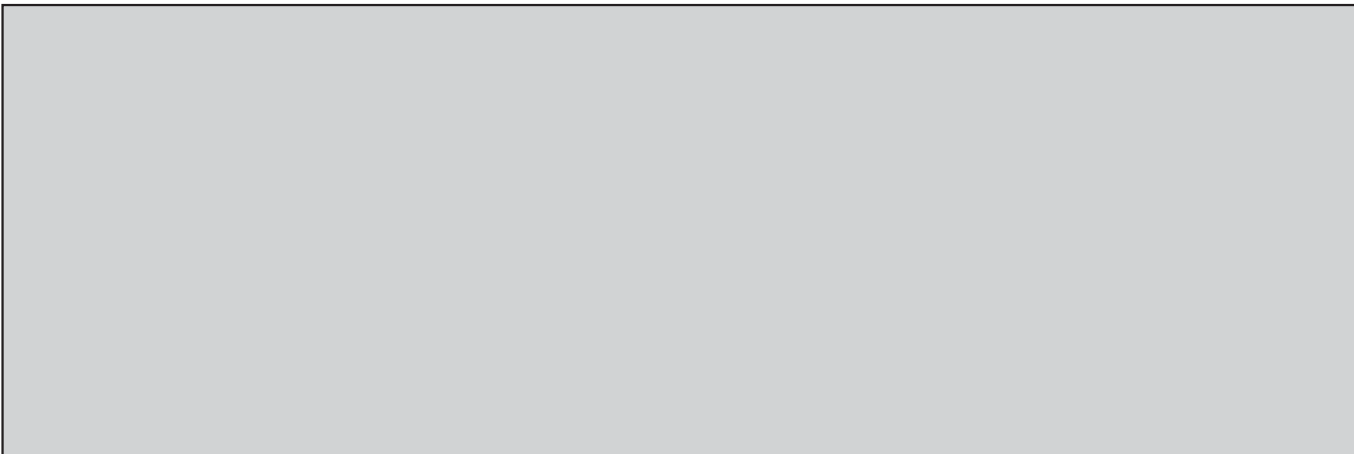
見に来て

日時 3/5 土 AM9:00 PM4:00 • 6 日 AM9:00 PM3:00

会場 文化福祉センター

主に市内の公民館で活動している自主活動サークルを中心に「文化展示」・「芸能発表」などを実施します。また、子ども達もたくさん参加できるようにふれあいルームコーナーを設け、工作やゲーム大会や人形劇などを行います。さらに、地域の防災についても関心をもっていただく機会として、減災教室や災害時の非常食の試食なども行います。他にもいろいろな催し物が盛りだくさんです。多くの方のご来場をお待ちしています。

広告 市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。



この広報紙は地球環境保護のために、再生紙と植物油インクを使用しています。